

令和3年 年頭挨拶

北海道知事 鈴木 直道

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

札幌建設業協会の皆様には、日頃から社会資本の整備はもとより、災害時の対応や冬期における除雪など、道民の皆様の日々の暮らしの確保と本道経済の発展に多大なるご貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな影響を及ぼした1年でありました。この感染症により多くの尊い命が奪われ、本道の社会経済にも甚大な影響が生じ、今もなお厳しい状況が続いています。この間、感染拡大の防止と社会経済活動の両立に向けて、「新北海道スタイル」の実践など各般の対策を進める中で、皆様には多くのご苦勞やご負担をおかけしながら、ご理解とご協力をいただいていることに感謝を申し上げます。

厳しい1年ではありましたが、こうした中でも、1月には道内7空港の一括民間委託がスタートするとともに、7月にはアイヌ文化振興の拠点となる民族共生象徴空間「ウポロイ」がオープンするなど、本道の更なる発展につながる新しい芽も生まれています。

また、本年は、東京オリンピックの札幌開催やアジア初のアドベンチャートラベル・ワールドサミットなど世界規模のイベントが予定されているほか、長年活動を続けてきた縄文遺跡群の世界遺産登録への期待がふくらむ年でもあります。こうした好機を着実に捉え、道民の皆様と共に、新しい北海道づくりを進める年にしたいと考えています。

社会資本の整備については、安定的な公共事業予算の確保に努め、安全・安心な地域づくりはもとより、道内経済の発展のため、交通・物流ネットワークの整備を進めるとも

に、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」も活用した防災・減災や老朽化の対策などに取り組んでまいりますので、皆様のお力添えをお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、明るい希望に満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和3年1月4日